

会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2019年 7月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2019年 7月1日発行 通巻315号

無事故で楽しい登山は

計画書づくりから！

## 7月号目次

・ 目次	2
・ 県連5月理事会報告	3
・ 県連6月理事会報告	5
・ 緊急情報「マダニは危ない」	8
・ リレーエッセー	11
・ 県連予定表・たより	12

### 表紙説明

今月号は、山行報告の投稿が少なかったため、ページ数が極端に少なくなりました。表紙写真もなく、急場しのぎに我が家の庭の花を使用しました。

7月・8月は夏山山行が多いと思います。9月号で夏山特集を予定しています。会員の皆さんからの投稿を楽しみにお待ちしております。

8月は県連理事会・各委員会はお休みします。理事の皆さんは、自会の山行に参加して報告を投稿して下さい。(一人一報告を?)

——編集者——

## 千葉県連 5 月理事会報告

県連理事 新津 健

(まつど遠足クラブ 1 年さくら組)

千葉県連 5 月理事会を下記の通り実施しましたのでご報告いたします

- ・ 日時 5 月 16 日(木) 19 : 00 ~ 20 : 15
- ・ 会場 船橋市西部公民館
- ・ 出席者 ちば山の会、君津ケルン山の会、松戸山の会、まつど三翠会、市川山の会、  
かがりび山の会、東葛山の会、千葉民医連山を歩こう会、  
船橋勤労者山の会(新理事:酒井氏参加)、山の会「岳樺クラブ」  
千葉こまくさハイキングクラブ、まつど遠足クラブ 1 年さくら組
- 役員 広木会長、鶴田副理事長、小林会計、伊東教遭委員長、菅井自然保護委員長

### ・議題

#### 1 委員会報告

##### (1) 教育遭難対策委員会

###### ① 4 月は事故が 2 件発生した

・4 月 6 日 男性(47)

マチガ沢に向かう途中転倒、右肩脱臼

・4 月 13 日 女性(38)

ボルダリング中に 3m から落下、膝じん帯損傷

###### ② 6 月 8 日の初級登山講習の参加申し込みが、東葛山の会と千葉こまくさハイキングクラブのみなので積極的な参加願いたい。

##### (2) ハイキング委員会

委員の交代 こまくさ HC、ちば山の会

###### ① 第 36 回 房総ロングハイク

2020 年 1 月 25 日(土)・1 月 26 日(日) 七里川温泉(泊)

コース……七里川温泉～亀山駅 歩行時間 約 6 時間 30 分

###### ② ウィークデー山行(神成山) 4 月 11 日(木) 無事終了した(参加者 66 名)

###### ③ 次回のコースは 7 月 9 日・ハイキング委員会で検討

##### (3) 自然保護委員会

###### ① 5 月 25 日(土) 金山ダム周辺クリーンハイク&ソーラー予定地視察 集合 9:00

・クリーンハイク 9:00 ~ 12:00

・ソーラー予定地視察(車で移動) 2つのルートを予定している

※鴨川のメガソーラーは県の許可が下りたが、許可条件として、a. 工事後の土砂災害の防止対策の配慮 b. 住民との十分な話し合い が条件となっており、すぐに着工出来るわけではない。今後も反対運動を続けていく。

#### (4) 組織委員会

6月の理事会までにアンケートの提出をお願いします現在4つの会から提出されている。  
5月の末か6月初め迄に提出してほしい。

## 2 討議事項

### (1) 千葉県自然保護連合に加盟の件

- ・検討した会では、会として加盟し活動するということは無かった。
- ・加盟とメガソーラーとは分けて考えるべきである。
- ・加盟して自然保護連合の組織として活動する方が効果的。

会長：千葉の自然保護を連合と一緒に活動するにしても、加盟していないと働きかけ等  
ができない。

提案者がはっきりとした説明ができなかったので、再度調べて提案願いたい。

### (2) その他

会長：①2月に実施した全国連盟評議会決定集を、会で回し読みして頂きたい。

②来年2月の総会で永年会員(20年)表彰がある。会から対象者を申請願いたい。

③役員等の名簿を提出して頂きたい。(所定の用紙を送ります)

④配布したDVD(東北震災復興支援活動報告書)は各会でコピーしたりして、  
有効に活用して頂きたい。

教遭： 県連ホームページの

①会の紹介ページの見直しを要請、4つの会から返答があり見直しをしている。

②HPを開設していない会(5会)からの希望はまだない。

自然保護 千葉労山後援の「平和を願うコンサート」を聴きに行ってください。

副理事長 ちば山では、定例山行・ウィークデー山行を月1回実施している。  
このような山行を、県連交流山行に取り入れてはどうか。

#### ——委員会よりのお知らせ——

- ・教育遭難対策委員会：事故防止交流集会 11月9日(土)10日(日)  
富津市民の森
- ・女性委員会 : 第13回ワンコイン講習会 9月7日(土)(予定)  
船橋西部公民館 山筋ゴーゴー体操 石田良恵先生  
: 第14回ワンコイン講習会 11月24日(日)(予定)  
船橋市西部公民館 初級リーダー講習会 安村 淳先生  
(会場使用・講師日程等により、変更の場合もあります)
- ・理事会より 8月は、例年通り理事会・委員会をお休みします。  
日頃、県連会議・行事等への参加で、会仲間との山行にご無沙汰  
している事を考慮して県連活動をお休みとします。  
会の皆さんと夏山を楽しんでください。  
ちばニュース9月号「夏山特集」に投稿する事が条件です。

## 千葉県連 6 月理事会報告

県連理事 寺崎 眞理 (ちば山の会)

- ・ 日 時 6 月 20 日(木) 19:00～20:30
- ・ 会 場 船橋市西部公民館
- ・ 出席者 ちば山の会、君津ケルンの会、松戸山の会、まつど山翠会、市川山の会、  
かがり火山の会、東葛山の会、ちば民医連合山を歩こう会、  
船橋勤労者山の会、山の会「岳樺クラブ」、  
千葉こまくさハイキングクラブ、松戸遠足クラブ 1 年桜組
- 役 員 広木会長、鶴田副理事長、小林会計、伊東教遭委員長、菅井自然保護委員長

### ・ 議 題

#### 1 委員会報告

##### (1) 教育遭難対策委員会

###### ① マダニ事故発生

・ 5 月 24 日東葛山の会、下山後の入浴で気付く。

※マダニは感染症が怖い。兵庫では死亡事故発生。

###### ② 初級登山講習は悪天候のため、中止。

##### (2) ハイキング委員会 7 月 9 日(月) 18:00～ 県連事務所

##### (3) 自然保護委員会

###### ① 5 月 25 日(土) クリーンハイク金山ダム周辺

○PR 不足だったせいか、参加者が少なく全体で 12 名。

○ゴミ重量 100K。車で通りがかった人が運んでくださった。

・回収後、鴨川の大きな尾根(ソーラー設置予定地)を歩いた、

・県は条件付きで伐採許可

###### ② 6 月 21 日(土) 大山宿でメガソーラーについての話し合いがある。

※ 各会でも独自にクリーンハイクをやってほしい。(こまくさは実施)

##### (4) 組織委員会

○アンケート集計結果 (未提出は来週中頃までに)、6 月 28 日を最終にした  
い。

・入会はHPを参考にするのがいちばん多い。

・シニアがやめないための方策は…、各会の情報を参考に。

かがり火…シニア会は自由にやっていく。

・アンケートは通年でやってみたい。(数年ごとにまとめる)

## (5) 海外委員会

- 海外委員会便りを発行しているので参照下さい。
- 中国「大姑娘山」 7/6～ 15 日帰国予定
  - ・高所なので、十分注意が必要。
- 登山時報「7月号」、県連行事「タイ・チェンダオ山」の報告が載っている
  - ＊よい情報が書かれているので、各会で勧めてほしい。

## (6) 女性員会

- ① 山筋ゴーゴー体操：9月7日（予定） 石田好恵 先生
- ② 安全登山について：11月24日予定 安村淳 先生
- ③ 全国女性交流会（講演、交流会のみ） 和歌山 10月25～26日  
：参加希望者は、広木まで ([danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp))

## (7) 機関紙委員会

- ① ちばニュースをもっと読みやすくするために
    - ・県連だより、県連予定を読みやすく（見やすく）変える。
    - ・山行報告は、簡条書きでもよい。
    - ・9月号～ 7・8月の夏山特集として、個人または会山行を載せたい。  
A4 1枚、明朝 12m 写真1枚程度（長文でなく簡単に）
- ※県連主催の山行等は、参加者全員のコメントで本音を載せたい。  
（簡条書きで結構です）

### ○自然保護連盟への加盟について

- ・自然保護連盟の実態がよくわからない。（三番瀬問題が中心で、干潟や水を守る運動を中心に活動をしている？）
  - ＊県連として加盟するかどうか。→保留（県連として、今回は結論は出さない）
  - ＊県連としては当面は現状の関係を維持する。

### ○鴨川メガソーラーについて。

- ＊地元の守るに、4団体が加盟している、県連としてもバックアップをして行く。
- ＊鴨川市議会で、2名の市議から発言があった。
- ＊全国自然保護集会 7月6～7日徳島県で開催する。（県連からは参加出来ない）
  - ・鴨川メガソーラー設置の件で、報告書を提出する（自然保護委員長）
- ＊貴重な自然なので、何としても残したい。

### ○会員の減少への対策について

- ・コミュニティセンター、公民館等の窓口にお誘いのポスター、チラシを置く。  
（窓口での問い合わせもある）
- ・公的施設でのイベントで案内等のリーフレットを配る。
- ・全国連盟作成のリーフレットについて（作成は全国連盟事務局に申し込む）
  - ・会の名前、連絡先、簡単な案内を入れる。
  - ・200枚までは無料、200枚を超えると1枚につき、20円。

## ○HP部会

### \* 県連のHPでの各会の紹介について

情報が古すぎるものがあるので新しくする必要があります。

各会からの新しい情報を送って下さい。

### \* HPの未開設の会について

・全国で、環境を無償で提供してくれるが、希望する会がまだない。

・技術的な問題については、伊東さんがフォローくれる。金銭面での問題も原稿だけメールで伊東さんに送れば開設作業のアドバイス、実作業を実施する。

### \* HPについて

・会の紹介、入会案内、連絡先程度の記載。

・船橋山の会は、会員が自由に更新している。

・個人情報に注意する必要がある。

・会の内部情報（会員専用情報等）はパスワードを設定している。

### \* 全国組織担当者、理事長会議 6/29～30 全国連盟事務所会議室

29日 鶴田副理事長 竹口組織担当理事 30日 戸石組織担当理事が参加予定。

広木会長は役員で2日間参加>

## ○その他

・県連事務所の使用頻度が少なくなってきた。各会でも有効に使ってほしい。

・山に関係する専門書等の提供が出来るようであれば県連事務所に寄付をお願いします。

・県連事務所の印刷機が古く、壊れれば使用できなくなる。（交換部品なし）

現在は県連総会資料作成が主な印刷です。次年度の総会資料は自前でやりたい。

9月から資料収集、新年に入ってから印刷予定。

\* 各会で作る記念誌等で、業者に外注の場合はその情報を事務局にほしい。

・船橋山の会は外注している。

・東葛山の会、ふわくHCは、会員にPDFで配給し各自が印刷。PC環境のない会員については、事務局が印刷して配布している。

\* マダニの感染が心配。ウイルスを持っているマダニの体液が感染症を起こす。

マダニの被害（東葛でも大台ヶ原で被害）については、知らない医師もいるので、「マダニの被害」を説明し、マダニを傷つけないように切開して取ってもらう。

5月・6月の県連理事会報告が、7月号に同時掲載となりました。

会員の皆様には、情報が遅くなった事をお詫びします。

理事会報告は、県連理事が毎月交代で議事録をとり作成しています。

月一回の理事会の報告です、出来るだけ詳しくお知らせしたいと思っています。

不明点や意見等は、自会の県連理事さんに伝えてください。

# マダニは怖い

ちば山の会 菊池典雄(昭和 24 年生まれ)

## 1. アポイ岳登山での体験

わが会では夏の北海道山行は人気があり、毎年数パーティが入山している。私も 2 年連続同メンバーで楽しんだ。昨年は初日の芦別岳では怖れていた熊の落とし物に 2 回遭遇、翌 7 月 8 日にアポイ岳でマダニ事件が発生した。わが会の YS さんから前もってマダニのことを聞いており、また前日わが会の ML に YS さんから北海道でのマダニ体験のことが報告され、服装をはじめ十分注意してアポイ岳に入山した。下山直後アポイ山荘で入浴中、同行者の女性がうなじの下部に咬着した 4~5 mm の黒いマダニに気づいた。地元のお婆さんから塩をつけるのが有効であると聞いたため、私が持参していた塩を虫体に被せてみるが・・・、無理やり取り除くことはできないため、スマホでネット検索、近くの浦河赤十字病院に直行した。この日は日曜日であり、午後 5 時からの救急外来に受診、当番の若い女医さんに切除していただき事なきを得た。整備された登山道のみを歩行しておりいつ侵入したか皆目わからなかった。

## 2. YS さんのマダニ経験

この原稿を依頼されたため YS さんからマダニ経験を聴取してみた。1 回目は 20 年ほど前で入浴中に前胸部の虫体に気づき、回すようにして排除できたとのこと。2 回目は新潟県奥胎内の山行中、ムズムズ感で気づいた上腕のマダニを払い落とした。3 回目は一昨年、知床山行の際、休憩中に風で飛んできた多くのマダニに仰天した。4 回目は昨年 6 月下旬の神威岳・ペテガリの単独山行で藪漕ぎも多かったが、真っ暗な山小屋の中で臍周辺に 3 匹咬着していたため、引っ張って取り除いた。翌日ホテルで針を使用して、皮膚に残った遺残物の処置を試みた。帰葉して皮膚科受診(受傷 3 日目)し、マダニのことを強く訴えたが、診察した皮膚医は「マダニなんかいるの??」と対応が良くなく憤慨した。後遺症はでなかった。

## 3. マダニ媒介感染症と対策

ネットで調べるとマダニに関しては多数検索でき参考になる。わが会では、昨年秋に会員への啓蒙のため例会で説明時間を設けたが参加者は多くなく、会員の方々に浸透したか疑問である。小生は「医者ともあろうものが」ではないが、マダニ媒介感染症による死亡事例は数年前から報道されており、多少は興味があったが、人ごとのように感じていた。

一般の家の中に住むダニ (0.2~0.4mm) とは異なり、大きさは 3~4mm で吸血後のメスは 3~4 倍になる。マダニは日本には 5 属 47 種が生息している。

**唯一の栄養源は動物 (哺乳類: 人間・牛・馬・羊・鹿・イノシシ・犬・ウサギ・ネズミなど) の血液で、幼ダニ、若ダニは発育・脱皮のため、成ダニは産卵のために吸血する。その吸血の際に、原虫やウイルス、リケッチャ、細菌などさまざまな病原体のベクター (媒介者) となることがある。**

生息地は山やキャンプ地だけでなく民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道、公園、河川敷、散歩道などにも普通に生息している。犬の散歩後に毛のブラッシングが重要なことがうなずける。

マダニの活動期は春から夏で気温と湿度の高い梅雨の時期が大好きのように、秋から春にかけて長期の休眠状態に入る。吸血するために地上 1m 位の植物の葉陰で野生動物や人を待ち伏せして、その体に付着する。そして比較的やわらかい部位の皮膚に咬みつき、セメント物質を分泌して固着し、吸血する。固着したマダニは除去しづらくなり、皮膚科での処置が必要となる場合がある。1 週間ほどして吸血が終わると、自然に離れ落ちる。

病原体は人の体内へすぐに侵入するわけではなく、病原体の種類によって時間は異なるが、マダニ類が皮膚に食いついてからある程度の時間が必要である。(例えばライム病なら 48 時間) マダニ類を早く除去すれば、それだけ感染のリスクを減らすことができるのである。民間療法として、タバコの火・ヤニ、ニコチン汁、アルコール、塩、ワセリンなどを塗るといった方法が知られているが効果は科学的に確かめられていない。市販されているマダニ除去器具を使用することもできるが、マダニ口器が皮膚の中に残っている可能性があるため、できるだけ早めに皮膚科に受診した方がよい。

感染症で最も話題になっているのは **SFTS:重症熱性血小板減少症候群 (severe fever with thrombocytopenia)** というウイルス感染症 (フレボウイルス) で中国では 2009 年以降報告され 2011 年にウイルスが特定された。2013 年に国内でも初めて報告 (2012 年秋に死亡) され、有効な薬剤、ワクチンがなく致死率は 6~30%前後でかなり高い。西日本地区で主に発生しており、農作業中の刺咬が関連している報告が多い。今年 4 月までに 404 名の患者のうち 65 名の死亡例がある。5 月に東京在住の方の初報告があった。6~14 日の潜伏期間を経て発症、発熱、食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛の消化器の異常、頭痛、筋肉痛、意識障害などの症状がでる。

ライム病の病原体はボレリアという細菌 (スピロヘータ) で本州中部以北特に北海道で多く報告されている。マダニ刺咬部を中心とする特徴的な遊走性紅斑を呈し、随伴症状として、発熱などのインフルエンザ様症状を伴うことがある。紅斑の出現は数日から数週間といわれ抗菌薬 (ドキシサイクリンやテトラサイクリン) が有効である。旭川医科大学の研究では北海道でマダニに咬まれて医療機関を受診した人のうち、8%が (6 年間で 700 人中 56 人) ライム病を発症したことが判明した。発症率は「自己抜去群」が 16.1%、非自己抜去群が 0.81%であった。ライム病を発症しなかった 296 人は咬まれてから平均 4 日で医療機関を受診したのに対し、発症した 56 人では平均 20 日を経過していた。有毒マダニに咬まれても。マダニごと皮膚を切り取り、抗菌薬を投与した 33 人は一人もライム病を発症しなかったと報告されている。われわれが昨年アポイ岳での事故後の行動が良かったなあと、今更ながら胸をなでおろしている。なお、本邦においてはシュルツェ・マダニの刺咬後にライム病を発症するケースがほとんどで、このマダニは北海道ならびに、本州や四国、

九州の山間部に生息する。北海道や青森県の一部では市街地等を除く平野部でも生息する。

ダニ媒介脳炎（フラビウイルス）は 1993 年北海道で初めて確認されて以来、現在までに 5 人の発生が北海道で確認されており、3 人が死亡している。国内の一部医療機関で輸入ワクチンによる予防接種が行われている。

その他、日本紅斑熱（リケッチャ）、Q 熱（リケッチャ）、野兔病（細菌）などが知られている。

野外では腕・足・首など肌の露出を少なくし、デイト、イカリジンの 2 種類の有効成分の忌避剤（虫よけ剤）が市販されており有効である。

マダニは最初、足元や腰付近に付くことが多く、一旦体につけば、柔らかい皮膚の部分を探して全身を這いまわります。体についてすぐには噛みつきません。登山帰りの運転中にやられることが多く、噛まれる部位は首筋から耳回り、頭、脇腹、背中、腰回り、内腿などでザックにもよくついています。7 月初旬のペテガリ岳で下山後、約 60 匹、服や装備に付いていて、そのうち食いつかれたのは 5 匹であったとの報告もあった。

下山後、入浴時などにダニがついているか入念にチェックし、マダニに咬まれた後数週間は体調の変化に留意し、発熱・発疹などの症状が認められたら医療機関で診察を受けること。

山では熊が怖いですが、マダニも侮れませんぞ！！ 「夏は軽装で」は要注意！！  
夏の北海道山行はとくに注意を！！

基金管理委員会に報告された事故一報では、マダニの被害が急増しています。千葉県連でも、マダニの被害で病院での処置をした報告が数例あります。房総の山でも、山蛭だけでなくマダニに対する対応が必要です。この様なマダニの脅威への備えとして、ちば山の会・菊池典雄さんに特別投稿をお願いしました。専門的で難しいかも知れませんが、質問にも対応していただけるとの事です。

◆ マダニ問合せ先

菊池 典雄先生 : Eメールアドレス [kn-telemark-inf@kce.biglobe.ne.jp](mailto:kn-telemark-inf@kce.biglobe.ne.jp)

※ 問い合わせ時には：所属会名・氏名 を忘れずに記入して下さい

——広木 国昭——

ハイキング委員会・リレーエッセー

## 那須高原ウォーキング (大丸温泉から殺生石まで)

ハイキング委員 八巻幸子  
(東葛山の会)

この頃は山に行かず持つぱらウォーキングが主になっている。

お友達と一緒に沿線のウォーキングに参加したりしています。

先日(那須自然研究路からウォーキング)のツアーに参加しました。

那須には何回か行っていますが八幡ツツジ園にはいったことがありません。

5月23日(木) 晴れ

朝の内は少し肌寒く感じました。風はありましたが、良い天気です。

大丸温泉から出発し、川に沿って歩き始めました。茶臼岳が良く見えています。

ツツジの道を行くと弁天吊橋・長さ65m、幅1.5m 結構揺れました。

渡り切るとまたツツジの道です。そして八幡ツツジ園に。敷地13haに20万本のミツバツツジ、山ツツジ他に咲き木道が通り、何か所かの展望台があります。

山ツツジは赤い色で見事に咲いていました。

展望台からは雲一つ無い空に新緑と茶臼岳。

ツツジ園を過ぎるとつつじ吊橋に、前の橋と同じくらいの長さで、結構揺れて渡り切るころには気持ち悪くなりそうでした。少し歩くと殺生石コースから恋人の聖地といわれる展望台に20分位登り、分岐まで戻り、殺生石までの下りです。

沢伝の石のゴロゴロした歩きにくい道を下り、殺生石に着き見渡すと、千体地藏さまが祀られ、また松尾芭蕉と弟子の曾良が一句読んでいます。

石の香や 夏草赤く 霊あつし

温泉神社を通りすぎ駐車場に ウォーキング終了です。

歩行時間：約4時間(休憩、昼食時間含む)

お天気に恵まれツツジも見られとてもよかったです。

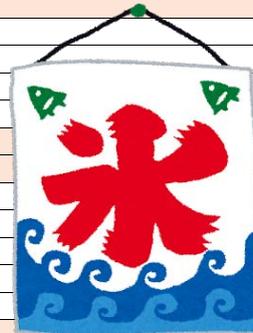
## 県連予定表

七月		会議・イベント
日付	曜日	
1	月	県連役員会
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	全国自然保護講座（徳島県）
7	日	
8	月	
9	火	ハイキング委員会
10	水	
11	木	海外遠征隊 中国・大姑娘
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	全国役員会
17	水	
18	木	県連理事会
19	金	ハイキング委員会
20	土	
21	日	
22	月	教育遭難対策委員会
23	火	
24	水	
25	木	全国理事会
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

八月		会議・イベント
日付	曜日	
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	山登り優先！ 県連活動はお休みです。
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

山登り優先！

県連活動はお休みです。



### 事故発生時の連絡先

- ①教育遭難対策委員会へメールまたはファクス  
 メール： itou2385@yahoo.co.jp  
 ファクス： 0438-36-7219
- ②全国連盟事務局にもメールまたはファクス  
 メール： jwaf@jwaf.jp  
 ファクス： 03-3235-4324

### 連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-0481509  
 千葉県勤労者山岳連盟

### お願い

#### 原稿募集！

今年登った夏山の写真にちょっとしたコメント付けて送ってください。  
 九月号で特集を組むつもりです。  
 コメントは自慢話、失敗談など何でもOK、二五行書いていただけたらそれで充分です。  
 送付先 m-toishi@min-iren-c.or.jp（戸石）  
 tanekura@gmail.com（種蔵）  
 danpohiro@zpost.plala.or.jp（広木）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>